

南部家の なみ

射る・騎る・撃つ

会場／もりおか歴史文化館 2階企画展示室
観覧料／一般300円、高校生200円、
小・中学生100円、団体(20人以上)は各2割引
開館時間／9時～19時 *入場受付は18時30分まで

2023.4.29(土)～7.10(月)

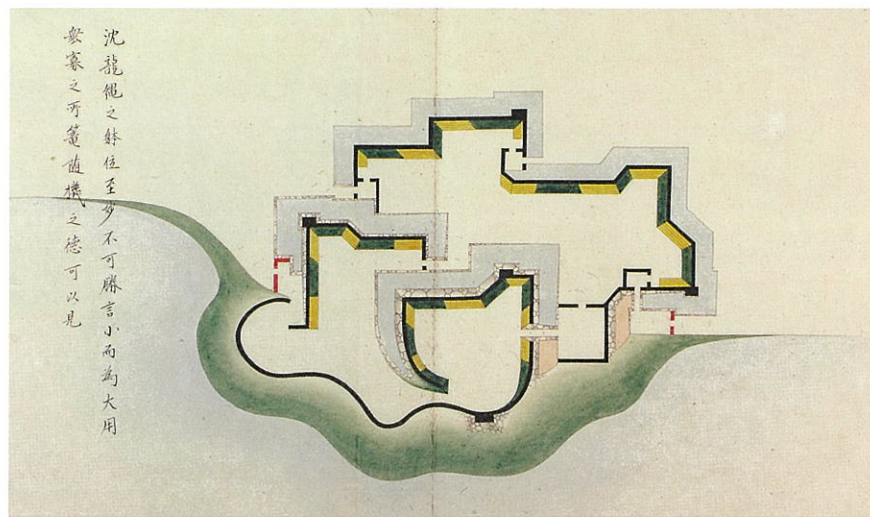


*盛岡市内在住で65歳以上の方、小・中学生のうち盛岡市在住・就学の方は無料
*障がいをお持ちの方やその介護をされる方(障がい者1人につき1人まで)は無料
*会期中の休館日は、2023年5月16日(火)、6月20日(火)



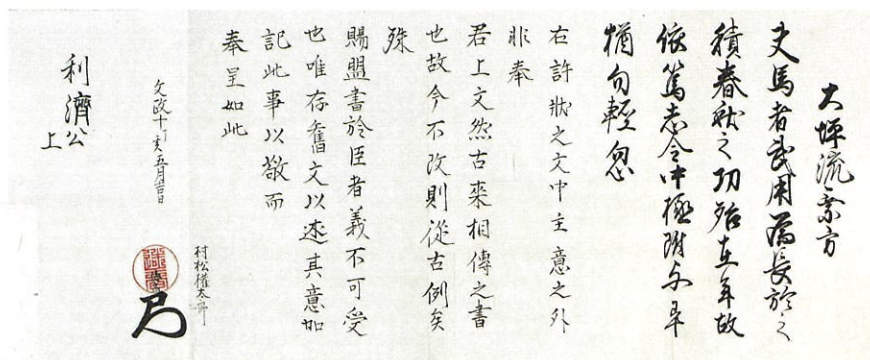
南部家の なまじなみ

射る・騎る・撃つ



縄張り図(南部利久)

沈龍龍之鉢位至少不可勝言小而為大用
家室之可鑑也徳可以見



大坪流馬術中極免許状(南部利久)

2023.4.29(土) - 7.10(月)



なぜ、彼らはこんなにも学問や芸事を学んだのでしょうか。時間やお金にゆとりが何ら変わらないように感じられます。

これらの、盛岡藩主やその子ども達が
行う稽古日と稽古内容を定めたもので、
毎月2日と7日は兵学、5日と10日は経
学、4日と9日は射術、6・16・26日は特別
の兵学、3・13・23日は謡曲、8・18・28日は
茶道を稽古するとされています。

また、この他にも、馬術、書
画、能なども稽古していたこ
とが他の記録に見られます。

こうしてみると毎日何かし
らの稽古をしており、現代の
子ども達が学校以外に塾通
いや習い事で忙しくしている

江戸時代末期の盛岡藩の記録にこの
ような記事があります。

諸御稽古御定日

二七 御兵学
五十 御経学御輪講
四九 御射術
六ノ日 別段御兵学
三ノ日 御謡曲
八ノ日 御茶事



赤地地向鶴紋籠

とりのある人が趣味としてする素人芸
などを「大名芸」や「殿様芸」と表現する
ことがあります。彼らは趣味としてこ
れほど様々な学問や芸事を学んでいたの
でしょうか。大名は教養として学問や芸
事をたしなんだと言われていますが、な
ぜ学び、何を求めて学んでいたのか判然
としなことが多くに思われます。

本展は、彼らが稽古した様々な学問
や芸事の二つを見直すことで、なぜ学
び、稽古することによって何をしようとして
いたのかを探ろうとする展示です。一昨年
度の和歌・絵画・書、昨年度の能楽・茶
道・香道に引き続き、今年度は武士の本
分である弓術や馬術などの武芸を取り
上げ、江戸時代の南部家の学びについて
探ります。

関連企画

① ギャラリートーク

◎日時/5月20日① 13:30~14:30

6月24日② 13:30~14:30

◎会場/当館2階 企画展示室(本展会場)

◎解説/担当学芸員 ◎参加費/展示室入場料が必要

② オンラインコンテンツの配信

当館公式YouTubeにて担当学芸員が展示解説等の動画を公開します。



YouTube



〒020-0023 岩手県盛岡市内丸1番50号

Tel.019-681-2100

<https://www.morireki.jp/>

もりおか歴史文化館

Morioka History and Culture Museum 活性化グループ

